

第7 消防職団員の出勤状況と処遇

第7 消防職団員の出勤状況と処遇

1 出勤状況（令和3年中）

消防職員の年間延べ出勤回数は、478,584回で1日当たりの平均出勤回数は約1,311回である。区分別では救急業務345,741回（構成比72.2%）、演習訓練23,959回（同5.0%）、警防調査18,681回（同3.9%）の順となっている。

消防団員の年間延べ出場回数は、20,094回で、1日当たりの平均出勤回数は約55回である。区分別では広報指導5,551回（同27.6%）、演習訓練3,518回（同17.5%）、特別警戒2,728回（同13.6%）の順となっている。

2 消防団員の処遇

消防団員に対し、各市町村から年額報酬、災害活動や訓練等に対する出勤手当が支給されている。

また、被服貸与や表彰制度、活動で死傷した場合の公務災害補償金、退団時における退職報償金の支給などがある。

※報酬額等は、各市町村の条例に基づき支給額を決定している。